

和平区行政訪問団の皆さんが来訪

12月5日(水)から7日(金)、友好都市中国天津市和平区から、副区長を団長とする行政訪問団8人が来訪されました。一行は、町長との懇談後に、町施設の見学や野添北公園蓬生庵でのお茶席を体験。環境や福祉への取り組みに興味を持ち、文化に触れるひと時を過ごしました。歓迎会では、和平区に関心を持つ人や中国語を学んでいる人などが集まり大いに交流を深めました。また、5年前に友好の証として石ヶ池公園に植樹した木の傍らでは、改めて両区町の友好を確かめ合うなど、意義深い滞在となりました。



▲図書館を見学する訪問団

**播磨町産の野菜を集めた
第5回農産物品評会が
開催されました**



12月8日(土)、JA兵庫南播磨支店「ふれあい会館」において、農産物品評会が行われました。地域農業の振興と栽培技術の向上を目的として播磨町営農振興協議会が主催するもので、今年で5回目になります。

多種にわたる農産物が審査され、入賞者の表彰が行われました。出品作物はその場で展示即売され、売上金は播磨町社会福祉協議会に寄付されました。

同協議会は、多くの生産者に出品していただき、消費者の皆さんに町の農産物を知ってもらう機会として今後も農産物品評会を開催してまいります。

**第39回日展に
入選、野添の
深瀬裕之さん**

日展は日本の美術振興を目的に明治40年から始まる、長い伝統を持つ我が国最大の規模を誇る公募展で、今回で39回になります。

今回入選された深瀬さんは、6年ぶりに出展され12回目の入選を果たされています。作品は、大阪市立美術館において、平成20年2月23日(土)〜3月23日(日)開催の特別展「第39回日展」で陳列されます。



▲「憶良のうた」

**平成19年町内火災発生件数8件。
町を守る決意新たに「消防出初式」**

1月13日(日)、加古郡消防協会出初め式が蓮池小学校体育館で行われ、播磨町から12人の団員が参加しました。式典の中で行われた表彰式で受賞された方は、次の通りです。(敬称略)

- | | | | |
|------------|-----|------------|-----|
| 兵庫県消防協会長表彰 | 功績章 | 兵庫東消防協会長表彰 | 功績章 |
| 加古郡消防協会長表彰 | 功績章 | 加古郡消防協会長表彰 | 功績章 |
| 個人表彰 | 功績章 | 個人表彰 | 功績章 |
| 野添分団、一子北分団 | 功績章 | 野添分団、一子北分団 | 功績章 |
| 二子分団 | 功績章 | 二子分団 | 功績章 |
| 岡田健吾 | 功績章 | 岡田健吾 | 功績章 |
| 藤吉桂児 | 功績章 | 藤吉桂児 | 功績章 |
| 藤谷竜也 | 功績章 | 藤谷竜也 | 功績章 |
| 古宮分団 | 功績章 | 古宮分団 | 功績章 |
| 永谷総一 | 功績章 | 永谷総一 | 功績章 |
| 二子北分団 | 功績章 | 二子北分団 | 功績章 |
| 石井和巳 | 功績章 | 石井和巳 | 功績章 |
| 播磨町消防団長表彰 | 功績章 | 播磨町消防団長表彰 | 功績章 |
| 野添分団 | 功績章 | 野添分団 | 功績章 |
| 藤原秀樹 | 功績章 | 藤原秀樹 | 功績章 |
| 古田東分団 | 功績章 | 古田東分団 | 功績章 |
| 田中直樹 | 功績章 | 田中直樹 | 功績章 |
| 本荘分団 | 功績章 | 本荘分団 | 功績章 |
| 田中昭吾 | 功績章 | 田中昭吾 | 功績章 |
| 古田東分団 | 功績章 | 古田東分団 | 功績章 |
| 山口雅彦 | 功績章 | 山口雅彦 | 功績章 |
| 古宮分団 | 功績章 | 古宮分団 | 功績章 |
| 筒井和秀 | 功績章 | 筒井和秀 | 功績章 |



▲前日の雨のため、体育館で挙行



▲懐かしい顔が揃いました

1月13日(日)成人式が挙行されました

昭和62年4月2日〜63年4月1日生まれの362人が、成人の日を迎えました。

今年も、会場準備から受付、司会も実行委員が務める自立した成人式となりました。参加した新成人は、弁護士 土の淡路友起子さんからのメッセージを受けて、20歳の決意を新たにしました。



▲新年のごあいさつ

新年交礼会

1月4日(金)、毎年恒例の新年交礼会が健康いきいきセンターで開かれ、町内の商工業者や住民の方が集まりました。新年にあたり、町長は「厳しい財政下ではありますが、皆で力を合わせ、住民サービスを低下させることなく、安定した堅実な行政運営を行っていききたい」とあいさつしました。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)
播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

2月の放送予定 (収録場所 加古川市)
前半 2月4日(月)〜17日(日)
●特集 確定申告と個人住民税の申告について (加古川市)
●ふれあいインフォメーション (各市町からのお知らせ)
後半 2月18日(月)〜3月2日(日)
●特集 ふれあいの場を自分たちの手で〜まちづくりの会活動 (稲美町)
●ゆうゆうライフ (播磨町)

放送時間 (第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組
月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
火・木 ①正午 ②午後7時
土・日 ①午前9時 ②午後6時 ③午後11時

わんぱくはりまっ子



いなだ ひめな
稲田 姫菜ちゃん (0歳11ヵ月)
東本荘
大きな幸せを沢山ありがとうございます♡
お父さん・お母さんより



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話をお願いします。

祝 50号
昨年、播磨町は町制施行45周年を迎えましたが、「広報はりま」は月号で50号となりました。

記念として、特集ページでこれまでの広報記事やこれからの広報紙についてご紹介していきます。社会や町の方針などを反映しながら播磨町と共に歩んできた広報紙。これからも皆さんにとってより身近な存在になるよう、進化しながら号を重ねていければ良いと思います。

600号、700号…の広報紙が発行される頃、世の中はどのように変わっているのでしょうか。また、その頃に現在の広報紙を読み返してどのように感じるのでしょうか。楽しみます。

(大)

楽屋裏

いいね! はりま
町政レポート No.13



▲民生委員・児童委員任命式にて

春はまだ少し先ようですが、木々の芽も膨らんで春の訪れを待っています。立春を過ぎれば、大中遺跡周辺の緑や海の色も徐々に春色に変化して私たちを楽しませてくれるでしょう。あとしばらくは、温かくしてお風邪などひかれませぬように。

■12月に新しい民生委員・児童委員・主任児童委員の任命式がありました。64人の方々就任されましたが、お引き受けいただきありがとうございました。民生委員は自治会とともに地域力の基盤として、重要な役割を担っていただいております。地域のコミュニティの存続が難しくなっている時代にあって、福祉を必要とする方々と行政をつなぐパイプ役でもあります。

新年早々、遺跡周辺を歩いていましたら、子どもたちのために自転車でパトロールされている民生委員さんたちにお会いしました。このような日々の活動が町の安全・安心に大きく貢献していただいていることに、改めて感謝!!

■播磨町の特産品の一つに「海苔」があることをご存知ですか。パリパリとした食感は卓越していて、他ではなかなか味わえないおいしさです。寒い時期にはより良質の海苔がとれるそうなので、ミネラル豊富な播磨町の特産品を是非一度ご賞味ください。

■障がいを持つ子どもたちの保護者「播磨町手をつなぐ親の会」と「播磨町心身障害児親の会」が合同のクリスマス会をされました。ライオンスクラブのサンタクロースからのプレゼントやボランティアの演技などで「しあわせセンター」の3階はとても温かい雰囲気になりました。

そばにいた一人の子が、プレゼントのお菓子を私にも一個おすそ分けしてくれました。そのやさしさを噛み締めながら味わいました。政治は今、この子たちのために何ができるでしょうか。「ともに生きる」まちでありたいと思います。

播磨町長 清水ひろ子

親子で楽しむ町内の文化財

パートII

11 大中の別府鉄道車両

今月は大中の播磨町郷土資料館にある、別府鉄道の車両を紹介します。白い播磨町郷土資料館の建物に沿って東に入ると、青いディーゼル機関車が見えてきます。



▲活躍した当時の姿を今も伝える



- 【クイズ】
ここでこれが、別府鉄道の車両だとわかるのでしょうか。
- ① 車両横の白い「X」のようなマーク
 - ② 客車の後ろの赤い丸い印
 - ③ 機関車の「DCC302」のプレート

「歴史の宝宝箱」と言われている播磨町。町の面積は狭いけど、文化財の数は多く、少し歩けばそこかしこに、地域の人びとが昔から大切に受け継いできたものがあります。そのような街角の文化財を紹介していきます。

【問い合わせ】郷土資料館 079 (435) 5000

今から20年ほど前まで、郷土資料館前から土山へ行く「でいのみち」には、1本の線路がありました。ガッタン、ガッタンと列車が走ることから、「ガッタン」との愛称をもつ別府鉄道が走っていました。

別府鉄道は1921年、今の多木化学の製品（肥料）を全国へ出荷するために、多木化学のある別府から、野口にあった旧国鉄高砂線の野口駅までが、まず作られました。2年後の1923年に、直接、山陽本線につながる路線として別府から土山までができました。車体の横には一見「X」のように見える「神代鋏」の多木化学社章をつけて活躍しました。

その後、自動車輸送が発達したため、昭和40年代をピークに、旅客も貨物も少なくなりました。そして、旧国鉄の大合理化計画の影響で1984年に廃止となります。

廃止のときは、別府鉄道に親しんだ多くの人々がなごりを惜しみました。63年間の操業の最終日である1月31日は、花道を飾るように、雪が降ったのが印象的でした。

最近、ある雑誌に「近代化遺産」の一つとして、この車両も紹介されました。今、近代化を進めた人々の願いを振り返る時期なのかもしれません。一つの文化財として、この車両も大切にしたいですね。



●クイズの答 ① 車両横の白い「X」のようなマーク



町の人口 1月1日現在

34,360人(-37人)

(住民基本台帳人口+外国籍人口)

男...16,845人(-7人)

女...17,515人(-30人)

世帯数...13,326(±0)